



# 磐二小だより

磐梯町立磐梯第二小学校  
令和5年5月24日  
第5号  
発行責任者 近野 典男

☆教育目標「自己を拓き、共に生きる、健康で品性の高い子ども」

○自分から学びます ○共に磨きます ○互いに鍛えます

【スローガン】キラキラとひとみか輝く二小の子ども

## すてきな表情があふれた連合運動会

13日（土）は絶好の天気の下、子どもたちが元気いっぱいに活躍することができたすばらしい運動会となりました。

今回なんといっても心に残っているのが、子どもたちの表情です。これまでマスクによって十分に見ることのできなかった子どもたちの表情ですが、この日は「夢中になるとこんなすてきな表情をしていたのだな」と感じ、見ていてとても幸せな気持ちになりました。

紅白の競い合いも、最後の競技までもつれる接戦で大いに盛り上りました。

白組の優勝で幕を閉じましたが、全力でがんばったからこそ子どもたちはすがすがしい気持ちで終われたのではないかと思います。

保護者の皆様にも、親子競技、運営、応援とたいへんお世話になりました。こうして大成功として終えられたのも、保護者の皆様のご協力があったからこそです。改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。



## 消防団、地域の皆様にも感謝

今年度は久しぶりに消防団の皆様に競技にご参加いただいたほか、地域の皆様にも「宝拾い」にご参加いただきました。

地域をあげての連合大運動会を実施していたころの盛り上がりを何度か聞いたことがあります。地域と共にあるのが二小のよさですので、可能な形で復活させたいと思いました。

今回こうしてご参加いただいた感じたのが「活気」です。たくさんの方々にお集まりいただき、それだけでいつもとは違うわくわく感がありました。子どもたちもたくさんの応援をいただいて、とてもはりきっていたように思います。また、消防団の皆様の競技には、何とか子どもたちを楽しませたいという気持ちが存分に伝わってきて感激しました。

このようすばらしい運動会になり、「運動会っていいものだな」というのはもちろん、「二小っていいな」「この地域っていいな」の思いを強くもちました。



## 体験活動の充実～ホワイトコーン栽培体験～



今年度はこれまで以上に体験活動を充実させていくことを方針に掲げています。

3, 4年生は鈴木農園様のご厚意でホワイトコーン栽培の作業を体験させていただいています。

種まき体験をしてから約1か月が経過した18日（木）、畑に行ってみると、マルチのそれぞれの穴からたくさんの芽が出ていました。直まきなので念のため1か所あたり3粒ほど入れていたことでこのようになったのです。しかし、大きく育つようにするためにには、1本ずつにしていかなければなりません。そこで、その仕組みと作業方法についてよくお聞きし、その後実際に作業を行いました。

暑い1日でしたが、子どもたちは一生懸命に取り組み、鈴木様からもスピーディーにできたとお褒めの言葉をいただきました。

作業の一つ一つに農家の方の工夫や思いがあり、それらにふれることは貴重な学びになります。これからもたくさん関わさせていただき、立派に育てていきたいです。

## 体験活動の充実～米作り体験～

米どころのこの地域で毎日田んぼを目にしていますが、米作りに関わったことがあるお子さんはそう多くはないようです。そのような中、今年度5年生は、落合生産組合様にご協力いただき、学校脇の田んぼで米作りを体験させていただけたこととなりました。

22日（月）、組合長様にお話をいただいた後、身支度を整えた5年生が裸足で田んぼに足を踏み入れました。田んぼに入るのが初めてのお子さんが多く、歓声（時には悲鳴）があがり、最初からとてもにぎやかで楽しい時間となりました。お手伝い経験のある子がよい手本となって、皆なかなか上手に手植えができたと思いましたが、終わって上から見ると曲がっていたり間隔がまちまちだったり…。それがなんともかわいらしく、このまま伸びていく一段と思い入れをもって見ることができるようになるに違いありません。



その後、田植え機による作業も見せていただきました。手植え体験の後に機械の力を目のあたりにすると驚きます。あっという間に植えることができ、しかも正確です。「すごい！」の声が上がりましたが、こうしたことを感じることが体験からくる学びと言えます。これらを通して、毎日目にしている田んぼの見え方がこれまでとは違ってくるはずです。このようなすばらしい機会を与えてくださった関係者の皆さんに心より感謝申し上げます。

今回、とてもありがたいのが、毎日見ることのできる学校のそばの田んぼであることです。観察しては感想を出し合い、生長を楽しんでいければと思います。

